

令和5年度!



第13期子ども大学はにゅう活動記録

1日目: 8月8日(火)

入学式

時間: 12:20~12:30
会場: 埼玉純真短期大学

市内の小学校4~6年生の子ども達25名が入学しました。そして卒業生のサポーター5名が参加しました。

アイスブレイク

時間: 12:45~13:15
会場: バス内
講師: 羽生市青少年相談員



埼玉純真短期大学のシャンデリアのある豪華なマナー実践室で入学式を行いました。式が始まるのを今か今かと待っている姿から、今日の学びを楽しみにしていたことが伝わってきました。藤田学長と秋本副学長からお話があり、子ども大学に参加する心得を教えてくださいました。今年のカリキュラムは2日間あります。市内の企業訪問や大学見学、あかちゃんの離乳食作り、防災グッズの組み方など、小学校の授業では体験できないような魅力的な講義をたくさん用意しました。



「アイスブレイク」とは緊張で氷のように固くなっている心を溶かすということの意味します。学生たちがより早く打ち解け、子ども大学をもっと楽しく過ごせるように、青少年相談員のもと自己紹介を交えたレクリエーションを行いました。

最初の講義は加須市にある平成国際大学で行いました。大学に向かうバスの中で青少年相談員による「アイスブレイク」が始まりました。市内小学校7校から集まった学生の多くは初対面のため、まずは周りの学生と仲を深めるために「目の検査」や「フェス」「友達コレクション」という3つのレクリエーションを行いました。特に盛り上がったのが「友達コレクション」です。2列に分かれて、青少年相談員が発表したお題に関連するものを順番に紙に書き、先に早く書き終わったチームの勝ちというゲームです。同じものを書くことが禁止なので、順番が先の学生はすぐに連想するものを書いて回し、順番が後ろの学生は難易度が高くなります。近くの学生がヒントを教えたりと協力してゲームに挑戦しました。バス内は白熱し、あっという間に大学に着きました。

講義Ⅰ はてな学

クイズラリー『すすめ! 大学探検隊』

時間: 13:30~14:30
会場: 平成国際大学
講師: 高野 千春 先生 (平成国際大学)
大学生スタッフ 5名



最初の講義は、平成国際大学を探検しました。平成国際大学は、法学部とスポーツ健康学部があり、オリンピック選手も誕生しています。

東京ドーム約4個分の広い校内を5グループに分かれ、学生食堂や新しいトレーニング室、大学生でも入ったことがない学長室などを見学しました。学生食堂では券売機にある食べ物の金額を計算したり、トレーニング室では壁にかかっている漢字の文字を読んだり、大学生スタッフにサポートしてもらいながら、グループで協力してクイズを解いていきました。クイズは全部で8問あり、1時間という短い時間でしたが、学生たちは達成感にあふれていました。

講義Ⅱ 生き方学

もぐもぐ・ごっくん・はじめてのごはん

時間: 15:30~16:30
会場: 埼玉純真短期大学
講師: 花島 慶子 先生 (埼玉純真短期大学)
大学生スタッフ 6名



2つ目の講義は、埼玉純真短期大学であかちゃんのための離乳食について学びました。

あかちゃんが初めて口に作るミルクの作り方とミルクの次に食べる「おもゆ」を作りました。おもゆとは、おかゆの上にてくる白い部分のことで、お米にスプーンの水を何杯いれたら完成するのを実験しました。お米に1杯ずつ水を入れていきます。そして、こし器やめん棒などの様々な調理器具ですりつぶしていくと段々と柔らかくなっていき、学生たちは夢中で取り組んでいました。結果は12杯の水をいれるとおもゆになりました。予想よりも多く水を入れることに学生たちは驚いた様子でした。

講義Ⅲ ふるさと学

はにゅうの産業と歴史を知ろう

～国内でも珍しいグミ專業工場～

時間：12:30～13:30
会場：富士高フーツ工業株式会社
講師：富士高フーツ工業株式会社の皆さん



子ども大学2日目になりました。3つ目の講義は、ふるさとと羽生のことを学ぶ「ふるさと学」です。埼玉純真短期大学のすぐ隣にある富士高フーツ工業(株)を訪問しました。

富士高フーツ工業(株)は、OEMという他社から受注されたグミやゼリー製菓材料などを製造している工場です。本社は東京にあります。約40年前に羽生工場が作られ、今回は第四工場を見学しました。羽生工場全体の1日の生産量は、約21トン(約525万粒)もあるそうです。

工場の生産ライン見学・グミ試作・グミ詰め放題・フレーバー嗅ぎ分け体験をしました。昨今のグミブームで身近にあるお菓子を、見たことのない機械や様々な材料を使い、たくさんの社員の方が携わって作られていることが分かりました。市内企業の素晴らしさを実感できました。

2日目:8月10日(木)

講義Ⅳ 生き方学

体験してみよう!身近な防災グッズ

時間：13:50～14:50
会場：埼玉純真短期大学
講師：羽生青年会議所の皆さん



最後の講義は、防災体験や「体験型防災アトラクション®」の開催など、防災に力をいれている青年会議所のみなさんから、身近な防災グッズを使って楽しく防災を学びました。

初めに段ボールベッドを作りました。1枚では強度の弱い段ボールが、組み合わせることによって大人で乗っても大丈夫なベッドが完成しました。

次に、手作りのろ過装置の実験をしました。ペットボトルの中に「綿・砂・炭・砂利・綿」の順に入れていきます。最後に泥水を流し入れて、その水が透明になって出てくるかを試しました。透明になるはさすが、泥水のままできたグループもありましたが、失敗も良い経験です。

日頃から災害が起きた時に慌てないように準備をすることが大切だと学び、最後の講義が終了しました。

学習のまとめ

時間：15:00～15:40
会場：埼玉純真短期大学
講師：小澤 俊太郎 先生
(埼玉純真短期大学)



2日間でたくさんのワクワクと発見がありました。学びは振り返ることで定着します。4つの講義を振り返り、楽しかったことや心に残ったことを絵日記にまとめました。個性豊かな絵や感想を真剣に書き進めていきました。思い出を話し合っている姿もありました。

修了式

時間：16:00～16:20
会場：埼玉純真短期大学

子ども大学への入学ありがとうございました。
これからも、たくさんの方に興味を持って、楽しみながら学んでいってくださいね!



2日間の楽しい大学生活を過ごしたあとに修了式を行いました。サポーターの中学生が司会を務めました。初めに、学習のまとめで書いた絵日記を使って感想を発表しました。「大学探検が楽しかった」「グミの作り方が分かった」「これからも学びたい」などと充実した2日間になったことが伺えました。

続いて、藤田学長から学年ごとに修了証を受け取りました。そして、3年間連続で参加した皆勤賞の6年生2人に、秋本副学長から記念品が贈呈されました。大学や企業での講義は、学生たちにとって忘れられない貴重な体験になったと思います。



発行日 令和6年3月
発行・編集 子ども大学はにゅう実行委員会
(埼玉純真短期大学・(一社)羽生青年会議所・
羽生市青少年相談員協議会・羽生ロータリークラブ・
羽生市教育委員会)
協力団体 アロハガス(株)・(有)シガ工芸・
読売センター羽生・羽生西部